

チェーンソーを用いて行う伐木作業・造材作業に関する作業計画

(調査・記録での活用可能)

調査・記録：令和〇年〇月〇日
 作成：令和〇年〇月〇日
 第 回改定：令和 年 月 日

事業者名	〇〇 林業	印
調査・記録職氏名	作業班長 〇〇	
計画作成者職氏名	作業班長 〇〇	

事業場(現場・団地)名 作業場所(林班等) 作業班名	〇〇〇国有林〇〇林班い1小班：〇〇町		
作業責任者名・連絡先	班長 〇〇 080-△△△△-□□□□		
作業期間	自 令和〇年 〇月〇日 ~ 至 令和〇年 〇月 〇日		
作業地の概況	①地形の状況	(傾斜) 平地 傾斜地 段差地 (傾斜地の場合) 急傾斜 中間 ならぬ (平均的な傾斜 20°)	
		(斜面の向き) 日照よい(南向き等) それ以外(北向き) (※留意点)	
	②地質・水はけの状況	(岩石地・崩壊地) 大きい 中間 小さい (※留意点)	
		(転石・浮石) 多い 中間 少ない (※留意点 浮石の注意場所あり)	
		(水はけ) よい 中間 悪い (※留意点)	
	③埋設物・架空線の近接の状況	(埋設物) 無 有 () (※留意点)	
		(架空線) 無 有 () (※留意点)	
④伐倒対象の立木の状況	(樹種) スギ ヒノキ その他 ()		
	(樹齢) (40) 年生が主体		
	(大きさ) 胸高直径 (30 cm 程) 樹高 (2.2 m 程)		
	(大きさのばらつき) 多い 中間 少ない (※留意点)		
	(立木の密度) 密 中間 疎 (※留意点 ぐさびの使用)		
⑤つるがらみ、枝がらみの状況	(つるがらみ) 無 有 (※留意点 伐倒前に確認、処理が必要)		
	(枝がらみ) 無 有 (※留意点)		
⑥枯損木等の状況	(枯損木) 無 有 (※留意点)		
	(風倒木) 無 有 (※留意点 一部かかり木あり)		
⑦下層植生の状況	(かん木) 密 中間 疎 (※留意点 退避の際、事前に処理が必要)		
	(草本) 密 中間 疎 (※留意点)		
作業計画の内容	⑧作業の方法	チェーンソーの使用 車両系木材伐出機械の使用 その他 ()	
	⑨伐倒の方法	間伐(定性) 列状 皆伐 択伐 切捨て その他 ()	
	⑩伐倒の順序	尾根部から谷部へ 谷部から尾根部へ その他 ()	
	⑪かかり木の処理の作業の方法	車両系木材伐出機械 フェリングレバー ロープ その他 ()	
	⑫退避場所設定標示	テープ表示 その他 (表示ポール)	
	⑬立入禁止設定標示	標識看板 縄張り カラーコーン その他 ()	
⑭合図の方法	笛 トランシーバー 手旗 その他 ()		
⑮伐倒木等転落・滑動防止措置	杭止め 支柱 下方の立入禁止 その他 ()		
⑯その他安全対策	・伐倒方向に確実に伐倒するため、ぐさびは2つ使用する。 ・伐倒前に合図の励行、指差し呼称により周囲に立ち入っていないか確認の上、伐倒する。 ・かかり木が発生し、即座に処理できない場合は、⑫を行うほか、班全員で情報共有する。 ・作業前ミーティングにより、その日の作業内容、場所及び安全ポイントを確認する。		

作業を行う場所・作業の方法の概略図

※ 緊急車両の走行経路、携帯電話等・無線通信による通信が可能である範囲等を記入することが可能であること。
 なお、既に、作業を行う場所を示す図面(事業図、森林図、地籍図等)を作成している場合には、本様式に添付することにより記入を省略することとして差し支えないこと。

作業班	作業員名	チェーンソー使用有無	チェーンソーメーカー	台数
作業班	〇〇 〇〇	有 無	ハスクバーナ	1
	〇〇 〇〇	有 無	新ダイワ	1
	〇〇 〇〇	有 無		

緊急時の対応	⑰緊急車両の走行経路、緊急連絡先	〇〇林班い1小班 GPS緯度： 32度〇〇分〇〇秒 経度： 131度〇〇分〇〇秒 消防署(電話 〇〇-〇〇〇〇)、 〇〇病院(電話 〇〇-〇〇〇〇) 緊急車両待合せ場所(林道等名称・位置) 〇〇林道・トラック土場 会社(〇〇事務所)(電話 〇〇-〇〇〇〇)
	⑱携帯電話等・無線通信による通信可能範囲	林道等名称・位置 携帯電話：トラック土場付近通話可能
	⑲備考	携帯の緊急通知位置通知設定：有効

この作業計画に従って作業します。(〇月 〇〇日)

(署名) 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇